

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8665
 住 所 東京都品川区大崎1-11-3
 氏 名 前田道路株式会社
 代表取締役 武川 秀也
 (代理人) 川崎合材工場 工場長 ミツ井 秀樹
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	前田道路株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区塩浜3-24-10		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	D	建設業
	中分類	06	総合工事業
主たる事業 の内容	建設業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,148	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ~ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 6,990 (調) 6,956 t-CO ₂	(実) 7,244 (調) 7,213 t-CO ₂	(実) 6,461 (調) 6,430 t-CO ₂	(実) 6,206 (調) 6,174 t-CO ₂	(実) 6,850 t-CO ₂
削減率		(実) -3.6 (調) -3.7 %	(実) 7.6 (調) 7.6 %	(実) 11.2 (調) 11.2 %	(実) 2.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	-				単位
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	100.0	100.4	103.9	105.9	98.00
削減率		-0.4 %	-3.9 %	-5.9 %	2.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度に対し数量が0.4%増加し、排出量も3.6%増加した。 生産数量に対し、1t当たりの燃費の悪化がCO ₂ の発生量の増加の大きな要因となる。
第2年度	生産数量が12.6%減少したため、温室効果ガスの排出量が7.6%減少した。 1t当たりの製造にかかる都市ガスの燃費が基準年度1t当たり8.5m ³ /tに対して、8.9m ³ /tだったため、生産数量の減少の割に数値があがってしまい、原単位は3.9%悪化した。悪化した要因として、数量減による稼働率の悪さにより断続運転が多くなったことが上げられる。
第3年度	生産数量が17.97%減少したため、温室効果ガスが11.2%減少した。 排出量原単位の目標である2%は一度も達成することができなかった。 次年度以降は生産計画の精度を向上させ、ロスのない生産ができるよう創意工夫を行い原単位の削減に努めます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○外部期間の利用 外部機関による省エネルギー診断を実施する。 ○エネルギー使用量の管理 データを分析し製造・燃焼設備の管理を行う ○照明設備の運用管理 照度測定により照度を確保し、電源管理を行っていく。高効率の機器の導入を検討していく。 ○空調の管理 管理標準に基づき、保守、点検等の実施により無駄をなくし効率の良い運転状況の管理を行う。 ○事務機器の管理 電源管理の徹底
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用量の管理 データを分析し製造・燃焼設備の管理を行った。 燃焼装置のオーバーホールの実施をした。 ○空調の管理 機器の点検・清掃の実施をした。 ○事務機器の管理 事務機器を省電力機に入替をした。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用量の管理 データを分析し製造・燃焼設備の管理を行った。 燃焼装置のオーバーホールの実施をした。 ○空調の管理 機器の点検・清掃の実施 ○乾燥炉の入替 効率の良いフライトを選定した乾燥炉に更新をした。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用量の管理 データを分析し製造・燃焼設備の管理を行った。 ○空調の管理 機器の点検・清掃の実施 ○乾燥炉の入替に伴う運転調整 バーナー調整及びフライトの再選定を実施した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	廃棄物の減量化の推進を図る。
第1年度	廃棄物の減量化を行っている。
第2年度	廃棄物の減量化を行っている。
第3年度	廃棄物の減量化を行っている。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	6,101	t-CO ₂
(調)	6,056	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
前田道路株式会社 川崎合材工場	川崎市川崎区堤浜3-24-10	1741	舗装材料製造業	5,532 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	1
100～200kl 未満	
100kl 未満	1

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--